

日本腎臓病協会 慢性腎臓病協力医（CKD 協力医）制度

CKD 患者数は 2000 万人に上るとされます。腎臓専門医の数は順調に増加しており、6600 人を超えるにいたりました。しかしながら、最大の問題は、専門医が偏在していることです。良質な腎臓診療を全国で均霑化するためには、これを補完する方法が必要になります。

日本腎臓病協会（JKA）では CKD 協力医制度を立ち上げることにいたしました。

CKD 診療に一定のご経験と関心をお持ちの先生方に、CKD 協力医になっていただき、CKD 対策推進にご協力いただきたいと考えています。協力医の先生方には、1) 各都道府県や JKA の HP でのリストの公開、2) 医師会・保健師の会へのリストの提供、等によって CKD 患者さんの優先的な紹介が促進されるものと考えています。

すでに全国では、複数の地域で CKD 診療に関する「協力医・連携医制度」が構築されています。つきましては、協力医制度をまだ開始しておられない都道府県（すでに実施中の都道府県でも可）に関しましては、是非とも本制度への参加をご検討いただきたくお願い申し上げます。

【CKD 協力医の役割】

- 1) 地域の CKD 患者の日常診療や療養指導に積極的に取り組む
- 2) 特定健康診査等で検尿異常や腎機能低下を指摘され「医療機関受診」を勧められた方へ適切な介入を行う
- 3) 腎臓病療養指導士等、地域の多職種と連携しながら診療にあたる
- 4) CKD の専門的治療を行う医療機関、合併症について専門的な治療を行う医療機関、医療保険者、市町村、保健所等と連携し、地域の CKD 対策を行う

【新規登録要件】

- 1) CKD 診療に携わる医師であること（診療科は問わない）
- 2) 日本腎臓病協会会員であること
- 3) JKA 主催・共催の CKD 教育講演を年 1 回以上受講していること
- 4) 登録有効期間 3 年間

【更新要件】

登録有効期間内に、JKA 主催・共催の CKD 教育講演を年 1 回以上受講すること

【年会費等】

JKA に入会していただく

- 1) JKA 入会金 1000 円
- 2) JKA 年会費 5000 円
- 3) 別途、申請料、更新料を求めるることはしない。